

第31回 豊済会 職員研修会

2022年11月6日(日)池袋ホテルメトロポリタンにて、入念な感染対策を講じ、3施設86名の職員が出席する職員研修が行われました。3年振りの現地開催となり、今回は外部から先生をお呼びしての教育公演は行わず、豊済会に所属する先生方の専門分野からの講演がありました。

1. 開会挨拶 豊済会 菊地 勘理事長

10年、20年先を見越した豊済会の理念に基づく話がありました。透析医療の羅針盤となり、職員や患者さんを導いていくという姿勢は皆に響く内容でした。



2. 新人紹介・表彰者紹介



3. 「透析患者の糖尿病管理」

ときわクリニック 日比 朝子副院長

近年、従来の糖尿病性腎症も含めた糖尿病性腎臓病（DKD）という疾患の概念の変遷が起きている事を知りました。用語が変わっても治療戦略は変わらず、糖尿病患者の治療と管理目標を示して頂きました。

自施設でも糖尿病を患う患者は多く、疾患を深く学ぶことは今後の患者支援につながる大きな利点となり得ます。日本糖尿病療養指導士の資格取得支援にも全力でサポートして頂けると力強い言葉もあり、資格取得者が増えることでより一層患者支援につながると感じました。



4. 「これからの腹膜透析」

下落合クリニック 塚田 三佐緒副院長

腎代替療法の1つとして腹膜透析があり、今後の日本における超高齢化社会での腹膜透析の可能性を学びました。血液透析と腹膜透析を併用したハイブリッド透析は双方の利点を生かした治療であり、患者のライフスタイルや希望を考慮しながら援助して行くことができると知りました。今後、透析施設でもハイブリッド透析の患者が増えていく可能性があり、職員一丸となって援助して行くことが必要であると感じました。

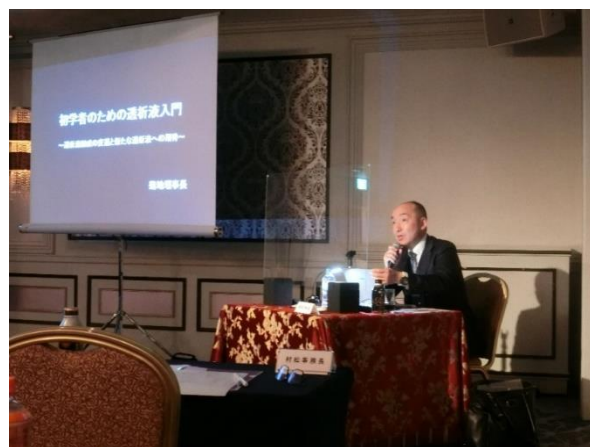


5. 「初学者のための透析液入門

～透析液組成の変遷と新たな透析液への期待～

豊済会 菊地 勘理事長

透析液の歴史や、現在当会で使用している透析液の組成とその理由について講演がありました。より良い透析が提供できるよう、日々変化しているのだと改めて学ぶ機会となりました。



6. 篠田顧問御挨拶

2022年4月から豊済会に就任されました。腎不全末期～透析導入期を専門に、境南クリニックでは慢性腎臓病外来を行って頂いております。



7. 閉会挨拶 豊済会 井上 篤会長

職員への熱い激励と共に、閉会の挨拶がありました。



8. 最後に

今回も新しい知識を学ぶことができ、とても有意義な研修となりました。
1年に1回ですが、3施設合同で学ぶことにより、豊済会全体で同じ目標に向
かって進むことができるのだと感じました。

これからもより良い医療を提供できるよう、職員一同研鑽して参ります。